

地方都市を対象とした合宿観光促進による地域活性化策の検討*

—石川県七尾市の合宿誘致を対象として—

The analysis about the examination of the local activation plan
by the training camp sightseeing promotion*

轟直希**・高山純一***・中山晶一朗****・張明*****

By Naoki TODOROKI **・Jun-ichi TAKAYAMA ***・Syoichiro NAKAYAMA****・ZHANG Ming*****

1. はじめに

近年、合併特例法により市町村合併が積極的に進められた結果、自治体の行施区域が拡大するだけでなく、一自治体が管轄する体育施設や文化施設等が大幅に増加した。各自治体には、これらの施設の有効活用が求められており、その具体策として体育施設を利用した合宿誘致が全国で活発になりつつある。

表1-1に示すように北陸地方における合宿誘致施策は、各自治体で積極的に実施されており、石川県内の各市町においても、合宿誘致制度を設けている自治体が多い。特に珠洲市や輪島市などの奥能登地域では、補助金も多く、合宿誘致に力を入れていることがわかる。北陸地方では富山県などでも合宿誘致が盛んに行なわれており、各自治体による合宿誘致の地域間競争が激化している状況と言える。

表1-1 北陸地方における合宿誘致策

自治体	対象	補助金	条件 (人・泊)	限度額
七尾市	学生	小中学生 500円 高校生以上：1,000円	50以上	小中学生：25万円 高校生以上：50万円
珠洲市	学生	小中学生：1,000円 大学生：1,500円	30以上	小中学生：10万円 大学生：15万円
輪島市	宿泊者	500円～3,000円	—	30万円～300万円
白山市	大学生	1団体あたり5万円	50以上	同一年度において1回
小松市	宿泊者	延べ泊数×1,000円 経費の1/2以内	—	50万円
志賀町	県外の 学生	1人1,000円	30以上	30万円
富山市	宿泊者	延べ泊数×1,000円	100以上	200万円
高岡市	県外の 宿泊者	1人1,000円 施設使用料の1/2	50以上	50万円～100万円 (施設使用料10万円)

石川県七尾市は、2004年10月1日、市町村合併に伴い市域が広域化するとともに、体育施設や文化施設等が増加し、その有効活用が求められている。一方、和倉温泉を抱え宿泊施設も充実しており、それらを一体化して有効活用できれば、地域の活性化にも非常に役立つと考えられる。そこで本研究では、これら地域の特性や事情等を考慮し、一般的な観光誘致とは異なる形態で、交流人

*キーワード：観光，合宿観光，合宿誘致，地域活性化

**学生員，金沢大学自然科学研究科

***フェロー会員，工博，金沢大学理工研究域環境デザイン学系

〒920-1192 金沢市角間町 Tel:076-234-4613, Fax:076-234-4613

****正員，博(工学) 金沢大学理工研究域環境デザイン学系

口を増加させるための宿泊客誘致策を検討し、新たな提案を行う。

具体的には、体育施設や文化施設を有効活用し、なおかつ宿泊を見込める誘致事業として、大学・短期大学・高等専門学校等の部活動やサークル、同好会活動などの合宿をターゲットに、誘客を図ることを考える。これらの合宿は、客単価は低いものの、大人数であることや、リピート率が高いことが特徴であり、地域活性化を早急の課題とする地方自治体にとっては、大きなメリットと考えられる。

本研究では、中長期滞在型の「合宿誘致策」として、全国の大学や高等専門学校等の運動部・文化部・各種サークル、同好会を対象に、日常的に実施している合宿の実態を調査するとともに、合宿場所を選定する上で考慮する条件など、合宿場所選択の要因を明らかにすることを目的とする。さらには、七尾市内の有効な地域資源を活用するために、七尾市に対する合宿意向を明らかにして、中長期の合宿を誘致する上での合宿誘致策の提案や課題を明らかにすることを目的としている。

2. 対象地域の概要

石川県七尾市は能登半島の入り口に位置し、自然に恵まれるとともに、四季折々風光明媚な地域である。また、和倉温泉をはじめ、市内には多くの宿泊施設が存在し、中長期間の合宿を行うには、非常に適した地域と考えられる。しかし、一般には全国の大学・短期大学・高等専門学校等の学生およびその関係者は、合宿を実施する上で慣例的に特定の場所を選定している場合(リピーター)が多く、他地域と比較が十分にされないため、他都市の良さ(その他の自治体の特徴や魅力、設備等)を知らない場合が多いだろう。また、行政や各種運動・文化施設、宿泊施設も、大学等の運動部・文化部やサークル等がどのようなサービスを求めているか、把握できていないのが実態である。

3. 調査概要

本研究では、上記の状況を踏まえ、全国の大学および

高等専門学校を対象とした合宿動向調査を実施した。調査は、①各校を対象に部活動数と合宿施設の有無を尋ねる調査（部活動実態調査）と、②各部活動を対象に合宿の実態と合宿場所、合宿施設等に対する意向を尋ねる調査（合宿実態および意向調査）の2種類の調査を行なった。②合宿実態および意向調査の調査項目を表3-1、アンケートの配布回収状況を表3-2に示す。

表3-1 アンケート調査の項目

項目	調査項目
合宿現状把握調査	合宿の有無 合宿の詳細（日数、人数、施設、場所、費用、交通手段、検索方法等）
合宿意向把握調査	合宿必須条件（交通条件、宿泊施設条件、練習・研修施設条件、その他条件） 必要練習・研修施設（希望施設、希望金額、希望時間） 石川県および七尾市の利用実態と利用意向
部活動属性調査	学校名、住所、部活動名、所属部員数および顧問数、利用可能交通手段

表3-2 アンケート調査の配布・回収状況

送付機関	送付校数 (校)	送付部数 (部)	回収部数 (部)
国公立大学	163	3,260	240
私立大学	75	1,500	59
高等専門学校	62	1,240	161
計	300	6,000	469(不明9)

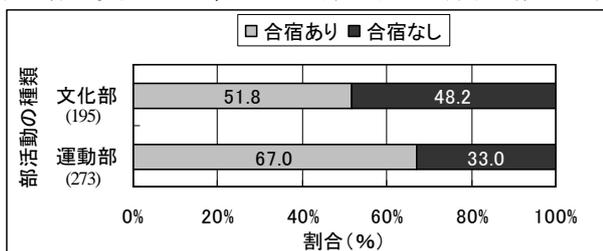
私立大学は、合宿施設を有している場合も多いため、国公立大学ならびに高等専門学校を中心に送付している。回収率は7.8%であった。以降の分析では、一般的な合宿誘致策の適用が可能であると考えられる、中長期の合宿を行っている部活動を中心に分析を進める。

4. 部活動の合宿行動を対象とした実態分析

本章では、全国の高等専門学校や大学の部活動の種類別に、合宿の有無や日数、費用等の合宿行動実態を把握する。

(1) 合宿の有無および合宿日数

運動系部活動と文化系部活動では、合宿形態が異なっていると予測される。そこで、「運動部」と「文化部」に大別し、合宿の有無の状況や、合宿する場合には、その日数に違いがあるのかを分析した。図4-1に部活動別の合宿の有無状況を示し、図4-2に部活動別の合宿日数を示す。



n=468

図4-1 部活動別合宿の有無割合

図4-1より、運動部と文化部によって、合宿の有無が大きく異なっており、文化部（52%）より運動部（67%）の方が合宿を実施する傾向が見られた。t検定でも両者には有意な差(5%)が認められている。

さらに、図4-2の合宿日数の比較では、運動部が10日から30日程度の長期合宿を行う団体が多いのに対して、文化部は、数日しか行わない団体が多いことが明らかとなった。平均でみても、運動部が11.5日/年であるのに対して、文化部は7.4日/年であった。このことより長期間の合宿を誘致する際は、運動系の部活動への効率的なPRが重要であると考えられる。

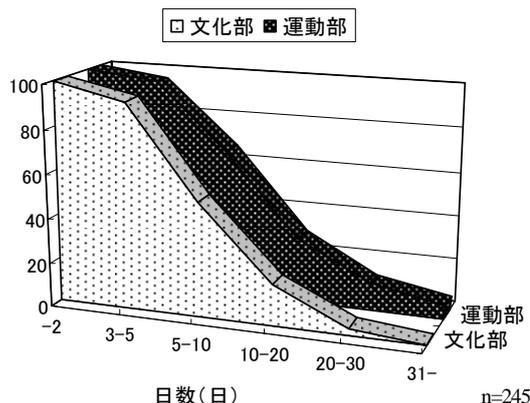


図4-2 部活動別の合宿日数の比較

(2) 合宿費用

運動部と文化部で、部活動の合宿形態がどのように異なっているのかを合宿の費用で比較した。その結果を表4-1に示す。

表4-1 種類別の合宿費用

	1年当たりの合宿平均費用 (円)	合宿1日当たりの平均費用 (円)
運動部	57,152	4,301
文化部	31,430	4,664

n=233

表4-1より、合宿の1年当たりの平均費用は運動部と文化部との間で約25,000円の差があることが明らかとなった。しかしながら、合宿1日当たりの平均費用はそれほど大きく異なることから、運動部系の部活動は、長期間の合宿であるため全体の費用も大きくなる傾向を示していると考えられる。

(3) 利用交通手段

合宿を行なう際に、どのような交通手段を用いるか聞いている。どのような交通手段を用いているかを把握することで、どのような交通手段のアクセス性を向上させるべきであるのか検討することができる。部活動で実態として使用している手段を図4-3、自由に使える手段を図4-4に示す。

図4-3より、マイカーと鉄道、貸切バスが全体の7割以上を占めており、これらの交通手段で行きやすい環境整

備が重要である。特に自動車や貸切バスの駐車場確保や公共交通のアクセシビリティ向上が重要であると考えられ、これらの手段の利便性を向上させることが重要である。

特に貸切バス、鉄道、路線バスを合わせた公共交通は全体の約60%を占めており、往復の交通だけでなく、期間中の交通の便を十分に確保する必要があるであろう。

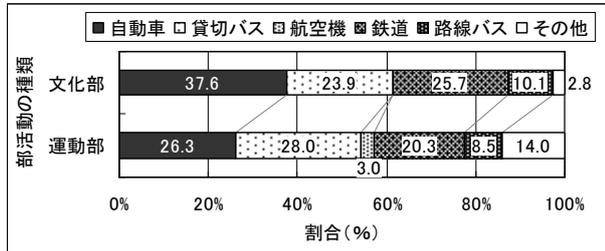


図 4-3 利用交通手段 n=242

図 4-4 より、利用可能交通手段では、約半数が自動車を使うことができないとしているとともに、35%が利用可能な交通手段を持たないことから公共交通に頼らざるを得ない状況が伺える。

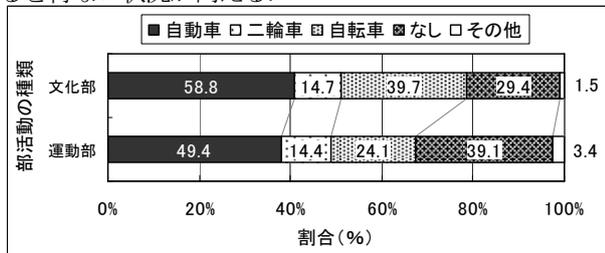


図 4-4 利用可能交通手段 n=245

5. 部活動の合宿意向分析

合宿を行っている部活動に対して、合宿を行う上で交通条件や宿泊条件など、どのような事項が施設選択に重

要であるのかを聞いている。各項目の重要度を5段階評価してもらい、各項目の評点を変数に主成分分析を適用した。その結果を表5-1に示す。ただし、表中のちは、運動部のものであり、文化部は()内に表している。

表5-1より、運動部における第1主成分(22%)は、付近の観光地や海、温泉等に関する影響が大きい。したがって、観光等を重要視している軸であることがわかる。第2主成分(10%)は、3食付であることや洗濯・入浴設備が整っていることを望んでいることから、本格的な運動合宿を望んでいる軸であることがわかる。第3主成分(9%)は、合宿場所までの距離や自動車の利便性、駐車場があること等の自動車利用に関する項目を重視していることから、自動車利用を強く望む軸であることがわかる。さらに第4主成分(7%)は、自動車利用で、宴会を行うような合宿を行う軸であることがわかる。

文化部においては、第1主成分(22%)は、運動部と同様で、観光等を重要視している軸であることがわかる。第2主成分(13%)は、自動車で合宿場所まで行っても練習施設までは送迎を希望し、さらには3食付や洗濯、入浴施設等の合宿に欠かせない項目も強い軸であることがわかる。第3主成分(9%)は、大部屋や宿泊施設の貸切、大浴場などの要望が強く、大規模な合宿を行う軸であると考えられる。第4主成分(7%)は、自動車の利便性が高く、近接の施設にスーパーやコンビニを希望している軸であることがわかる。

以上より、大きく大別して、「観光を従目的とした合宿」と「中長期型の食事や入浴、洗濯等の設備の整った合宿」に分けられ、さらには「自動車利便性の高い場所、施設」を望む声が多いことがわかった。

表5-1 合宿意向主成分分析(運動部・文化部別) ※運動部(文化部) 下線はプラスの傾向が強いもの

変数名	固有ベクトル				主成分負荷量			
	主成分No1	主成分No2	主成分No3	主成分No4	主成分No1	主成分No2	主成分No3	主成分No4
公共交通利便性	0.16 (0.05)	0.01 (0.11)	0.00 (-0.44)	-0.29 (-0.03)	0.37 (0.11)	0.01 (0.19)	-0.01 (-0.63)	-0.38 (-0.03)
自動車利便性	0.18 (0.11)	0.09 (0.21)	<u>0.36 (0.02)</u>	<u>0.27 (0.25)</u>	0.41 (0.26)	0.14 (0.38)	0.52 (0.03)	0.36 (0.32)
場所まで20km程度	0.11 (-0.02)	0.15 (0.24)	0.35 (-0.28)	-0.15 (-0.35)	0.26 (-0.04)	0.24 (0.43)	0.50 (-0.40)	-0.20 (-0.44)
場所まで100km程度	0.11 (0.00)	<u>0.23 (0.35)</u>	0.39 (-0.11)	-0.09 (-0.35)	0.24 (0.00)	0.36 (0.62)	0.56 (-0.16)	-0.12 (-0.45)
送迎(交通結节点⇄宿)	0.24 (0.09)	<u>0.16 (0.27)</u>	-0.22 (-0.26)	-0.43 (-0.08)	0.54 (0.21)	0.25 (0.48)	-0.31 (-0.37)	-0.57 (-0.10)
送迎(宿⇄練習施設)	0.23 (0.05)	<u>0.16 (0.40)</u>	-0.20 (-0.23)	-0.40 (-0.08)	0.53 (0.12)	0.25 (0.72)	-0.29 (-0.33)	-0.53 (-0.11)
駐車場あり	0.18 (0.17)	0.13 (0.31)	<u>0.27 (0.18)</u>	<u>0.27 (0.09)</u>	0.42 (0.38)	0.21 (0.55)	0.38 (0.27)	0.35 (0.11)
大部屋あり	0.17 (0.12)	<u>0.16 (0.09)</u>	0.20 (0.33)	0.21 (-0.22)	0.39 (0.28)	0.25 (0.17)	0.28 (0.48)	0.27 (-0.28)
シングルあり	0.21 (0.05)	0.15 (0.21)	0.05 (<u>0.19</u>)	-0.10 (<u>0.14</u>)	0.49 (0.11)	0.24 (0.38)	0.07 (0.28)	-0.13 (0.18)
3食付	0.14 (-0.13)	<u>0.34 (0.32)</u>	-0.31 (0.16)	0.18 (0.13)	0.32 (-0.29)	0.54 (0.57)	-0.44 (0.23)	0.23 (0.17)
大浴場あり	0.20 (0.07)	<u>0.27 (0.27)</u>	-0.12 (0.39)	<u>0.28 (0.10)</u>	0.46 (0.16)	0.43 (0.48)	-0.18 (0.56)	0.36 (0.13)
24時間入浴可能	0.23 (0.22)	0.13 (0.13)	-0.10 (0.27)	<u>0.22 (0.11)</u>	0.52 (0.51)	0.20 (0.24)	-0.14 (0.39)	0.29 (0.15)
洗濯施設あり	0.13 (0.14)	<u>0.39 (0.25)</u>	-0.11 (-0.06)	<u>0.02 (0.15)</u>	0.29 (0.31)	0.62 (0.45)	-0.16 (-0.08)	0.03 (0.19)
娯楽施設あり	0.25 (0.27)	-0.14 (0.01)	-0.07 (0.00)	0.08 (0.02)	0.57 (0.62)	-0.23 (0.02)	-0.11 (-0.01)	0.11 (0.02)
宴会可能	0.20 (0.22)	-0.22 (-0.14)	-0.29 (0.13)	<u>0.29 (-0.28)</u>	0.45 (0.50)	-0.35 (-0.25)	-0.42 (0.19)	0.38 (-0.36)
貸し切り可能	0.16 (0.24)	-0.01 (0.11)	-0.29 (<u>0.21</u>)	0.15 (-0.34)	0.36 (0.55)	-0.01 (0.19)	-0.42 (0.31)	0.19 (-0.43)
自炊可能	0.15 (0.28)	-0.25 (-0.03)	0.21 (-0.12)	0.02 (-0.12)	0.35 (0.64)	-0.39 (-0.06)	0.31 (-0.18)	0.03 (-0.15)
キャンプ可能	<u>0.29 (0.35)</u>	-0.17 (-0.06)	-0.01 (-0.11)	0.00 (-0.05)	0.67 (0.80)	-0.27 (-0.11)	-0.02 (-0.15)	0.00 (-0.07)
合同練習可能	0.13 (-0.04)	0.12 (0.22)	0.19 (-0.19)	-0.24 (0.36)	0.31 (-0.08)	0.19 (0.40)	0.27 (-0.27)	-0.32 (0.46)
付近に観光地あり	0.30 (0.31)	-0.23 (-0.11)	0.07 (-0.08)	-0.12 (0.07)	0.69 (0.71)	-0.36 (-0.19)	0.10 (-0.11)	-0.15 (0.09)
海の近く	0.24 (0.34)	-0.24 (-0.15)	0.05 (-0.06)	0.02 (0.01)	0.56 (0.77)	-0.38 (-0.27)	0.07 (-0.08)	0.02 (0.02)
山の近く	0.22 (0.32)	-0.30 (-0.08)	0.00 (-0.01)	-0.01 (-0.02)	0.51 (0.73)	-0.47 (-0.14)	0.00 (-0.01)	-0.02 (-0.03)
温泉の近く	0.29 (0.31)	-0.25 (-0.09)	0.02 (-0.10)	-0.04 (<u>0.16</u>)	0.65 (0.70)	-0.39 (-0.15)	0.04 (-0.14)	-0.05 (0.20)
スーパーやコンビニあり	0.19 (0.19)	0.10 (-0.04)	-0.04 (-0.16)	0.01 (<u>0.43</u>)	0.43 (0.44)	0.16 (-0.07)	-0.06 (-0.22)	0.01 (0.55)
固有値	5.22 (5.17)	2.51 (3.22)	2.08 (2.08)	1.73 (1.65)				
寄与率(%)	21.74 (21.54)	10.47 (13.43)	8.65 (8.67)	7.21 (6.87)				
累積寄与率(%)	21.74 (21.54)	32.21 (34.98)	40.86 (43.65)	48.07 (50.52)				

6. 七尾市に対する合宿意向分析

(1) 石川県および七尾市に対する合宿の現状

ここでは、石川県および七尾市への合宿実態として、石川県や七尾市へ合宿で訪れたことがあるのかを聞いた。表 6-1 にその結果を示す。

表 6-1 石川県および七尾市に対する合宿実態

	場所	北陸地域の学校 (%)	その他地域の学校 (%)
実施したことがある	石川県内 (七尾市除く)	31.6	2.3
	七尾市内	10.5	0.9
考えたことがある	石川県内 (七尾市除く)	33.3	2.3
	七尾市内	33.3	0.9
サンプル数		19	222

表 6-1 より、石川県や七尾市に対する合宿意向は、北陸地方においても僅か 30% であり、まだまだ実施意向は非常に少ないことがわかった。さらに全国になると、石川県、七尾市ともにほとんど考慮に入れられないとする実態がわかった。石川県や七尾市に対する合宿意向が非常に小さいことから、石川県を選択肢に入れてもらえるような施策を県レベルで実施していく必要があるであろう。

さらに、七尾市で行なわれている合宿誘致制度の認知度は、北陸地域でも僅か 5% 程度であり、非常に低いことがわかった。さらに全国での認知度はほとんどなく、合宿誘致制度自体の PR も重要となる。

(2) 七尾市に対する合宿意向

各部活動を対象としたアンケートで七尾市に対する合宿意向を聞いている。合宿意向を聞く際に、七尾市の合宿誘致制度の情報や合宿施設、宿泊施設の情報を事前に提供した。その結果、合宿意向がどのように変化したのかを表 6-2 に示す。

表 6-2 七尾市に対する合宿意向

	北陸地域の学校 (%)	その他地域の学校 (%)
合宿を行ないたい	15.8	7.8
詳しく知りたい	36.8	26.1
行きたいとは思わない	47.3	66.1
サンプル数	19	218

表 6-2 より、今回の調査により、七尾市に対して意向が高まっていることがわかる。北陸地方では 16%、その他地域では 8% の部活動が合宿を希望していることが明らかとなった。さらに北陸地方で 37%、その他地域でも 26% の部活動が、合宿条件の詳細を知りたいと考えていることがわかった。以上より、正確な情報を与えることで、七尾市への合宿意向が高まる可能性を示すことができた。

(3) 七尾市の各種合宿条件に対する評価分析

アンケートでは、七尾市に関する情報（交通情報、宿泊情報、練習・研修施設情報等）を同時に郵送し、それらに対する意見を聞いている。七尾市の状況にあてはま

る度合い（強く感じる）が強い順に 5 段階評価してもらい、さらには、七尾市の状況を考慮した上で、合宿意向があるかどうかを聞いている。合宿意向（行きたい、考慮したい、行かない）を目的変数、各種合宿条件の項目を説明変数に、数量化理論Ⅱ類を適用した。その結果を表 6-3 に示す。

表 6-3 七尾市を対象とした合宿促進要因の分析 n=198

要因	カテゴリ	カテゴリ数量	レンジ	偏相関係数
行きつけ	ある	-0.52	1.66	0.28
	どちらとも	-0.02		
	ない	1.13		
施設使用料	低評価	-0.01	1.22	0.17
	中評価	0.64		
	高評価	-0.57		
練習試合環境	低評価	-0.83	0.50	0.17
	中評価	0.36		
	高評価	0.14		
七尾市までの距離	低評価	-0.15	1.28	0.16
	中評価	1.14		
	高評価	1.00		
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
外的基準	行かない	-0.28		$\eta^2=0.16$
	考慮したい	0.49		
	行きたい	1.12		

表 6-3 より、七尾市の合宿意向では、行きつけの合宿場所や施設使用料金、練習環境、さらには七尾市までの距離が場所選定に大きく影響している。行きつけの場所がなく、練習環境が整っていると評価し、さらには、距離に関する抵抗の少ない部活動は、七尾市に対して興味を持つ可能性が高いことが明らかとなった。

7. まとめ

(1) 合宿は運動部と文化部でその特性が異なっていることが明らかとなった。さらには、「観光を従目的とした合宿」と「中長期型の食事や入浴、洗濯等の設備の整った合宿」に大別され、「自動車利便性の高い場所、施設」を望む声が多いことがわかった。

(2) 石川県や七尾市に対する合宿意向では、本調査をきっかけに、興味を持つ部活動が増加し、行きつけの合宿場所や施設使用料金、練習環境、七尾市までの距離といった要因が合宿場所選定に大きく影響している。これらの要因を考慮した PR 戦略が有効であろう。

(3) 今後の課題として、七尾市からの距離別利用意向分布を行い、距離抵抗の大きさをはかることや、具体的な PR 戦略についても言及したい。

<参考文献>

(1) 大野功二郎, 杉山道雄, 有本信昭, 荒幡克己, アドリアノ チアニ(1998): 白川村におけるグリーン・ツーリズムに関する研究, 岐阜大農研報(63), pp.97-104